

## 第9回 杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会会議録（要旨）

会 議 名	第9回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会
日 時	平成23年3月3日（木）午前10時～午前11時55分
場 所	永福小学校 図書室
出 席 者	統合協議会委員20名（欠席4名）
傍 聴 者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ピオトープについて</li> <li>2 統合校のコンセプトについて</li> <li>3 その他</li> </ol>
資 料	<p>資料1 永福小学校ピオトープ・水田について</p> <p>資料2 統合校のコンセプトについて</p>

会長	<p>おはようございます。</p> <p>ただいまから第9回統合協議会を始めます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、本日の資料確認をさせていただきます。</p> <p>まず本日の「次第」、それと「統合新校コンセプト（まとめ）」というもの、左上ホッチキスでとめてある「資料1」と書かれているもの、左上に「第9回永福南小学校・永福小学校統合協議会 資料2」と書かれてあるもの、「けやき活用方法について」、そしてA4判つづりになっています「第8回統合協議会会議録要旨」という資料が用意されているかと思いますが、いかがでしょうか。もし足りないものがありましたら、その場で言っていただければと思います。</p> <p>統合協議会も22年度5月に第1回目を行いまして、きょうは3月ということで、今年度最後の統合協議会です。来年度もこれが引き続き行われていくわけですが、前回から教育活動等々についての話し合いが進んでおります。</p> <p>今日もそれを受けながら話を進めていきますので新しい統合校に向けていい教育活動ができるようどうぞ皆さん方の忌憚のない、いろいろなご意見をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>なお、本日は事情により、私が中座をすることがあるかもしれません。その際には副会長の延寿寺校長に進行等をお願ひする場合がありますのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは会次第に基づきながら進めます。</p> <p>それでは1番目のピオトープについて、事務局からよろしくお願ひします。</p>
----	--

<p>学校適正配置担当係長</p>	<p>おはようございます。</p> <p>資料 1 をごらんください。外構部分のビオトープ等に関しては当初の図面では、正方形に仕切られた水田とビオトープを配置する計画でした。その計画図面を杉並区まちづくり景観審議会の景観専門部会で審議いただいたところ、デザインを少し工夫し、水田とビオトープと一体化できないかという指摘がありました。その指摘を受け、設計し直したのが今回の図面です。従来のものに比べると、マウンドをつくったり、池から小川（クリーク）を通して水田に水を張るというように、池と水田に一体性を持たせるデザインで設計業者に考えていただきました。</p> <p>設計コンセプトは設計業者から説明します。</p>
<p>設計業者</p>	<p>それではビオトープの説明をいたします。給水には原則水道水は使用しません。図面に雨水タンクがありますが、このタンクに雨どいを直接つなぎます。また、井戸を設けて井戸ポンプからの給水できるようにするほか手押しポンプを設け、池に水が流れるようにしました。子どもたちが押すことによって水の流れを楽しむような設計にしています。</p> <p>池にはボールタップ、水位調整用のバルブをつけて、水位が減ると自動的に池に給水がされます。池からクリークにはバルブを通じて池の水がクリークに流れるようになっています。このクリークに溜めた水はバルブを通じて水田に給水するようになっています。</p> <p>クリークには水深 10 cm の水を溜めて、この水を水田に給水することにより、水田には水深約 5 センチの水が溜まる設計です。</p> <p>クリークに水を溜めるのは、水をそのままただ流すと水温が低くて稲には余りよろしくないということがあり、クリークに一旦水を溜めて水温を調整して水田に水を流し込むという計画です。</p> <p>井戸水は通常、径が細いものでできますが、手押しポンプと電気のポンプを併用しているので、25 cm か 30 cm 程度のかなり大きい径のものを考えています。</p> <p>ポンプはソーラーパネルを設けて動かすことになります。ですから当然、日中晴れた時間帯しかポンプは動きません。</p> <p>それから水流は、循環もどうかという話がありましたが、メンテナンスの面でも非常に難しいため循環方式はとっていません。水は池に流れ込み、それからクリークに行って、クリークの末端で排水する。もしくは水田から最終的に排水するという一方通行で、水田からまた池に水を戻すということは考えていません。</p> <p>また、野芝を全面に植える計画になっています。野芝ですから手入れもそれほど必要はなく、時間が経つにつれ、雑草に変わっていき、原っぱのような雰囲気になっていくのではないかと思います。</p> <p>マウンドは、全体に多少起伏をつけて里山の雰囲気をかもしだそうと考えたものです。</p>

	<p>現在この場所はヒマラヤスギのような大木がかなりあって、暗い雰囲気になっています。工事に伴って結構木を切らなくてはいけないのですが、ピオトープ・里山にふさわしい樹木に変更したほうがいいので、現況ある 11 本のヒマラヤスギのうち池の西側の 2 本を残し、あとは全部伐採して、そこにミズナラとか桑といった、この場所にふさわしい樹木を新たに植えようと計画しています。</p> <p>また、以前の計画では小路部分はレンガ敷でしたが、こういった雰囲気のところですから木を敷く計画に変更しました。</p> <p>以上がピオトープの説明です。</p>
副会長	<p>今、ピオトープについての説明がありました。疑問点あるいは、もう少し詳しく説明してほしいことがありましたらお願いします。</p>
学校適正配置担当係長	<p>図面を見ただけではよくわからないところがあるかと思しますので補足します。雨水と井戸水を使って水を池にくみ込み、池からクリークを通して水田に温まった水が流れるというイメージです。水流循環の場合には水田に溜まった水を池にもう一回戻ることになります。この方法は技術的には可能ですが、水が汚れてしまいます。さりとて今のピオトープに比べると日当たりがよくなるので、ずっと水を動かさない状態だと干上がったり、池の水が淀んでしまう心配があります。</p> <p>今考えているのは、タイマーをつけて湯水期には 1 日に 30 分なら 30 分、水を入れて水の循環をよくして古い水は排出する。雨水が多い時期に関しては自動的に水がどんどん変わっていくという感じになります。</p> <p>以前、統合協議会の中でもクリークにメダカなどの生育もさせたいという意見もありました。メダカは水が常に循環している状態だと、棲息はしますが産卵はしないそうです。その辺も考えて、クリークというのは訳すと小川という意味ですが、どちらかというとも水路みたいなイメージで設計してもらっています。ですから 1 年を通じて常に水が満々とたたえられている状態ではなくて、冬になると田んぼから水がなくなり、クリークの水の量も減ることになります。</p> <p>現在永福小では平家蛭（ヘイケボタル）を育てていますが、蛭を自然に生育できる環境とするのはなかなか難しいですが、可能性はあります。</p>
副会長	<p>今説明がありましたが疑問点等ありますか。</p>
委員	<p>資料を見ると池の深さは 35 cm 内外が一番深いところと解釈すればよろしいでしょうか。池からの排水はクリークだけに流れて池そのものから排水は特に必要ないですか。集中豪雨の場合、池に溜まった水は芝のところにあふれる心配はないのですか。</p>
設計業者	<p>溜まった水は一部クリークとつながっているので、自然にオーバーフローしてクリークから排水される計画です。</p>
委員	<p>池から直接排水というのはないんですね</p>
設計業者	<p>そうです。クリークが水位調整の役目も担います。</p>

委員	これだけの長さがあれば相当強い雨が降ってもここのクリークで十分吸収できるということですか。
設計業者	そこから排水管につながっているので、排水は一番端にオーバーフロー桧というのがある、そこから下水に流れ込みます。
学校適正配置担当係長	オーバーフロー桧はクリークと水田に2カ所ですよ。
設計業者	クリークと水田に2カ所あります。水田とクリークが直接はつながってなくてバルブで調整していますので、大雨のときには水田ではなくクリーク端部の桧から排水されます。
委員	大雨が降って危ないと、弁を開けてクリークに流れるようにするということですか。
設計業者	いえ、池とクリークは直接オーバーフローでつながっています。
委員	<p>現在のビオトープは大きな木がたくさんあって、そこを管理している理科担当の先生、主事さん、ビオトープ応援隊も大きな木はそのまま残して欲しいという希望もたくさんありました。ただ移植するのは多大な費用がかかりますし、区では樹木医さんに診ていただいたり、残しておきたい木の希望を植栽計画に取り入れたりという配慮をしてくれました。</p> <p>この間も木が一本倒れたんです。内側に倒れて道路のほうに倒れなかったからよかったものの、これから先もこういうことはあると思いますので、30年後の永福小の人たちのために、ここで大きな木は伐採して、新しい木を植えて育てていきたいと思います。区の皆さんも、業者さんもいろいろ考えてくださって本当にありがとうございました。</p>
副会長	ビオトープ応援隊も木の伐採については了解しているということです。新しい木を植えるときにまたぜひご意見を言っていただければと思います。
委員	<p>この図面を見させていただいてすごくいいなと。こんな施設は他の学校にはないという感じがします。</p> <p>細かいことですが、クリークの脇はコンクリートですか。それなりの配慮したものでやってもらえますね。</p>
学校適正配置担当係長	コンクリートを使うとクラックが入って水が漏れるという例があるそうですから遮水シートを使います。資料にある断面図を見ていただけますか。養生シート、遮水シートと記載してあります。アスファルトは使いません。
副会長	<p>土と遮水シートを使ってやっていくんですね。</p> <p>よろしいでしょうか。このビオトープは確かに立派なもので、まちづくり景観委員会の相当強い意見があったということでしょうね</p>
学校適正配置担当係長	まちづくり景観審議会の景観専門部会に、今回のケヤキ伐採の件やビオトープも図面を出して報告したところ、きちんとしたコンセプトを持って計画しなさい

	<p>という指摘がありました。ビオトープもこれだけのスペースがあり、水田と池があるのだから、一体感を持たせるべきだという意見をいただき、それに合わせて考えたところです。</p>
副会長	<p>そうですね。本当にすてきなビオトープになったと思います。</p>
委員	<p>なかなかすばらしいのができたんですが、ここの部分の塀というのは、防犯の面で中が見えない高い塀になっていますね。</p> <p>一般の人の立入は、防犯上の問題があると思いますが、外を歩いている方からビオトープが見えるような塀の工夫はできませんか。</p> <p>せっかくつくっても関係者しか見られないのは寂しいので、歩く方にも学校の中が見られるような工夫をしていただけると非常にアピールできるのと思います。</p>
委員	<p>塀もついでに壊してしまうとか。</p>
委員	<p>高さはあってもいいけど、すき間がある程度あるとかネットにするとか。</p>
副会長	<p>そこはどうなっていますか。</p>
設計業者	<p>現状ではフェンスは撤去する予定でいます。それからカイツカイブキが接道面にありますが、それは全数撤去します。</p>
副会長	<p>カイツカイブキも全部取るんですか。</p>
設計業者	<p>全部取ります。現状よりも道路境界から70cm後退したところに新たにフェンスを設ける計画でいます。</p>
副会長	<p>フェンスを設けるのですか。</p>
設計業者	<p>はい。フェンスはコンクリートブロックが40cm、その上に1.5mのメッシュフェンスを設けます。ですから道路からいいますと1.9m高さがあります。そのメッシュフェンスには壁面緑化といいますか、つる性植物のテイカカズラをはわせる計画になっています。見えるか見えないかということ中は何となく見えると思いますけれども、葉は密植しますので、よくは見えないかなと。</p>
副会長	<p>下から40cmがコンクリートで、1.5メートルのメッシュにカズラをはわせるんですね。</p>
委員	<p>時間がたってカズラが大きくなって全面になると見えなくなるので、例えばカズラの植え方で、ところどころすき間があつてのぞけるぐらいではどうでしょう。</p>
委員	<p>ではカズラはやめましょう。</p>
設計業者	<p>東京都の緑化指導がありまして、基本的には接道面は接道緑化をしなければなりません。面積によって接道の長さが何mという決まりがありまして、やむを得ずフェンス面の緑化ということで許可をしていただいている状況です。</p>
副会長	<p>今の東京都の接道緑化についてはわかりました。今度は植物については別にカズラじゃなくて構いませんか。</p>
設計業者	<p>ツル性植物なら何でもいいんじゃないですか。</p>

副会長	ツル性植物。
設計業者	要は壁面を緑化するわけですから。
委員	では手入れをしていけばいいんですね。
委員	ツルで緑があるかないかというのは常緑じゃないといけないんですか。
設計業者	そんなことはないです。
委員	常緑じゃないほうがいいじゃないですか。
委員	特に水田がメインになっていると、稲が育って行って穂が実る過程を、幼稚園の子を連れて「ああいうふうになった」「あれがお米だよ」というのが外から見えるように工夫されていけば、それに対して興味を持つのではないかと思うのです。花なら公園に行けば幾らでも見られるけど、これだけの水田はなかなか見ることはできないので。
副会長	<p>確かにそのお話の中で意図がよくわかるので、コンクリートの40cmの部分もそうですが、上の接道緑化のことについては直に植えても構わないようなものも見たことがあります。わざわざ中に入ってではなく、外から水田の様子を地域の方々にも見ていただく、今こんなになっているなとわかる形の工夫がもう少しできないだろうかということですね。</p> <p>植物についてはもう少し検討していただけるといいのかなというご意見ですが、よろしいでしょうか。</p>
学校適正配置担当課長	こちらで少し検討させていただきます。
委員	原っぱですが、手入れとかそういうことがあるので区のほうでなるべくいろいろとご配慮いただけるとありがたいです。
学校適正配置担当係長	メンテの問題も多少は出てきます。例えば1年に1回クレークの <sup>しゅんせつ</sup> 浚渫をやらなきゃいけないとか、芝の手入れなどが考えられます。普通の芝と違って野芝なのでどちらかといえば雑草に近いイメージです。その辺は維持・管理経費ということで設計とは別になります。これから維持・管理担当部署と検討させていただきます。
委員	芝刈機は必要でしょうか。
副会長	芝刈り機は永福南小にあります。ただ、あれが使えるのかどうかわかりません。でも、野芝ですので、多分、何年か後には雑草みたいな形になると思うんです。
委員	雑草は結構伸びると思います。
副会長	芝には私もずっと関わってきましたが、いろんな種類の芝があります。今やっていこうというのは、芝は植えるんですが、運動するために下を雑草にしてしまうとデコボコができてしまうのではないのですが、もしも運動をすることがなければ、雑草のような芝を植えるというのもあるので。
委員	手入れは大丈夫なんですか。

副会長	手入れしないているほうがいいという一つの考え方がありますね。
委員	自然のままね。
副会長	機械も入れずに自然のままにやっていく。要は子どもの頃に遊んでいたシロツメクサが一面にあるイメージですね。
委員	シロツメクサだったらいいですけど。
副会長	将来的にそういう形になるのではないかなと見ています。違いますか。
委員	それだったらいいですね。ぼうぼう雑草になったらビオトープの手入れが大変だなと思う。
学校適正配置担当係長	芝生に関しては教育委員会もある程度ノウハウがありますが、それをどうしたらいいかというのは維持・管理部署と相談しながら考えていきたいと思います。
副会長	ほかにございますか。
委員	井戸についてですが、これは例えば緊急災害時に利用できる井戸なんでしょうか。
学校適正配置担当係長	緊急災害用の防水井戸というのは今、学習園のところに既にあります。各学校には必ずありますが、それとは別に1個掘ります。
学校適正配置担当課長	災害時にも手押しポンプで使えます。
委員	ただ、飲み水には使えないですね。
学校適正配置担当課長	飲み水に使えるかどうかは検査しないとわかりません。
委員	太陽光発電ということですので、災害時に電気がとまっても使えますか。
学校適正配置担当係長	ポンプは2つあって、1つは今の災害用の井戸のように手押しのもので。手押しは電気が止まっても使えます。ただ、給水するときに手押しポンプだけだと水田はかなり大きいのでとても無理です。ですから湯水期のことも考えると電動ポンプもつけてという形を考えています。
委員	井戸が2カ所あるということですね。
学校適正配置担当係長	そうです。
副会長	ほかによろしいでしょうか。どうぞ。
委員	図面には水田が2面ありますが、米作だけですか、畑にはならないんでしょうか。
学校適正配置担当係長	畑は別の場所に学習園というのが今もあります。学習園は改築後も継続してやります。
委員	常に水田には水は溜めてあるんですね。
学校適正配置担当	冬は抜きます。

当係長	
委員	防水装置をしてありますので畑にはならないということですね。
学校適正配置担当係長	畑として活用することは考えていません。二毛作まではちょっと難しいのではないのでしょうか。
副会長	できないですね。水田のみの活用という形になります。
委員	お米が終わったらここは遊んでしまいますね。もったいないね。 それから池ですが、これだけ面積があると水草も植えると思いますが、その水草は学校側で植えますか、それとも区のほうでちゃんと設置してくれるんですか。
委員	今、池の中には、ビオトープ応援隊などが、いろいろな珍しい植物とか葉を植えているので、新しくなっても池にいいものを植えていくんじゃないかと思います。
委員	ただ、水草を植えるに関して、外来種の水草を植えると外来種の卵とかの問題はないのでしょうか。
委員	今の池も外来種を省いて在来種を中心にやっています。子どもたちにもどこかでとってきたものを入れないようにという注意を表示しています。
委員	わかりました。ありがとうございます。
委員	非常に細かいことを言って恐縮ですが、前にもプールの水のことで言いましたが、断面図を見ると吐き出し口が真っ直ぐ設置されるようですね。水面より上部から給水されるようなので、音がものすごく気になります。 給水管の形を変えられませんか。
設計業者	L型にということですか。
委員	要するに音が漏れないように。
副会長	水面の中に入れるとか。
設計業者	図ではすごく段差があるように見えますが、実際には池の淵から水面まで20cmしかないのです。水面すれすれのところから吐き出す感じです。
委員	そうですか。要は吐出口から水が出るときに、近所の者としては結構音が気になります。
設計業者	吐出口から水面までは5cmもないのでLをつけるほどの段差ではないですね。
委員	音が出たときには後でつけていただく。雨が降っているときと降らないときでも全然違うでしょうし、きっとやってみなければわからないでしょうから、それはメンテナンスしていただくというような形にしたほうがいいですね。
副会長	では実際にやってみて、音については工夫していただくということによろしいでしょうか。ほかに池について意見はありますか。 今、永福のビオトープは水中の生物は何がいるのですか。
委員	メダカがいるし、亀もいる。あと、クチボソがいたり、カエルの卵がすごいで

	す。１００匹、２００匹分くらい。
副会長	カエルの種類は何でしょう。
委員	アマガエル。茶色いのは何というんですか。
副会長	それはヒキガエルですね。さっきメダカの話が出たので言いますと、この間、ある研究会で、ビオトープをつくるときに、つくる側のコンセプトによってビオトープの中身が変わるんですね。つくる側がトンボを主にしてビオトープをつくるのとメダカをコンセプトにしてビオトープをつくるのでは違うんです。植物をコンセプトにすることもある。だから、その差がとでも出てしまう。つくるときにどういう形でやるのか。先ほど外来種を排除したものをやるという話でしたが、今のものがそっくりそのままくるのか、メダカについては杉並メダカかクロメダカか。杉並にずっと生き残っているメダカがいるんです。
委員	ビオトープ応援隊は、団地とか古い民家を訪ねて、草とかいろんな杉並の在来植物をとってきて、ビオトープに植えています。例えば、もう今は神田川に全然なくなってしまった数珠玉を植えたりしているので、今後もそういうコンセプトになると思うんです。ただ、ビオトープといういろいろな人のこだわりがあるので、ここに昔からあるものをそのままを残していきたいという気持ちは強いと思います。皆さんから色々な意見をお伺いしながらやっていったらどうかと思います。
副会長	よくわかりました。そういうコンセプトだとヒメダカじゃなくてクロメダカです。ヒメダカは観賞用の突然変異のメダカですので、通常に川にいるのはクロメダカになります。ただ、なかなかいないんですけどね。 他にビオトープについて何かご意見なりご質問はありますか。意見の中に課題が幾つか出てきましたが、その辺をお考えいただいてビオトープについては終わります。
学校適正配置担当係長	ここで設計業者は退席させていただきます。
会長	それでは統合のコンセプトについて話を進めます。 使用する資料は、「統合新校のコンセプト（まとめ）」と左上に「統合協議会資料２」と書いてあるものです。 資料２は、前回委員の皆様方からいろいろな話を出していただいて、黒板に書いたものをそのときの分類の仕方でもとめたものです。それを今度は延寿寺校長がもっと大きな内容分類で分けました。 「統合新校のコンセプト（まとめ）」の資料の１番目は、「学校自身のコンセプト」の中で「地域の学校、学校の姿」ということ。２番目は「教育内容」にかかわること。３番目は「子どもの姿」。４番目は「新校への要望」という分類の仕方です。そういう観点で新たに見ていただいて、今日はこんな話し合いをしていき

	<p>たいと思います。</p> <p>学校の教育活動は「知・徳・体」ということでいわゆる学力の部分、健全育成の部分、体力向上の部分という従来からよく言われている、そういう知・徳・体のものがどこの学校でも書かれています。ぜひこういう子どもに育ててほしいという強い思いをある程度絞った形で、その中で考えていただきたい。</p> <p>資料裏面になりますが、最終的にはそれらを統合した教育目標をどうするのかというところに持っていきたいと思います。教育目標はどの学校でもありますが、大体その全部は覚えていないものなのです。通常、教育目標は教室の黒板の上側に張ってあります。とても長くて覚えきれない。例えば永福小の教育目標はこうです。最初にリード文があります。</p> <p>「21世紀に生きる日本人として人間尊重の精神を育み、常に自主的・創造的で集団及び社会の一員としての自覚や国際理解の心を持ち、たくましく生きることのできる児童の育成を目指す。そのために教育目標を次のとおり定め、全教育活動を通じてその実現に努める。」</p> <p>その1つ目として思いやりのある子ども、科学的に物を考える子ども、明るく健康な子ども、進んで行動する子どもという内容です。</p> <p>延寿寺校長も同意見なのですが、最終的に誰が見ても分かりやすく、なるほど、こうやるんだねという短い文で子どもも大人も分って、みんなでこうやっていこうという教育目標にしたいと考えています。そのためには、最初から教育目標ありきではなくて、統合新校ではどういう子どもを育てていきたいのかということはこの間話し合ったものの中から意見をいただいて、子どもの姿を示していきたいと思います。そのように今日は進めていきたいのですが、進め方はよろしいでしょうか。</p> <p>どのような子どもを育てたいのかということだと、非常に抽象的なものになりがちなので、「知」の部分ではこういう状況があってこんなことを考えていったらいいんじゃないのかという何となくつぶやきでいいですので、意見を出していただきたいと思います。「知」・「徳」・「体」という順で進めたいと思います。</p> <p>前は「徳」の部分は随分出てきましたが、「知」は1つ、「体力」についてはゼロという状況でした。やはり徳育の部分を重視されているんだな、思いを持っていらっしゃるんだなとわかりましたが、きょうは「知」の部分あたりから話を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>学校適正配置担当課長</p>	<p>前は非公開にさせていただきましたが、今日の話し合いは通常どおり公開でよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>「求める子ども像」ですので、子どもの教育活動をどういうふうにしていくかという話し合いについては公開の形にしてよろしいでしょうか。それとも非公開にしますか。公開されても別に構わないですね。(異議なし)</p>

	では今回は公開ということで進めます。
委員	教育目標は先生方がお考えになる話だと思います。私たち素人は教職員ではないですしね。
副会長	はい、考えます。でも、一番大切なのは保護者の方々や地域の方々の思いをきちんと受けとめて考えるということだと思います。
委員	でも、ここにいる人たちの主観で物を言うことになると、ここにはいない保護者の人たちが言いたいこともたくさんある中で、目の前にいる自分の子どものことを考えながら意見を言うことになると思うんですね。ですから、ここは学舎（まなびや）なので、まずは先生方が私たちはどういう子どもを育てていこうと思っているということを示していただければと思います。
会長	ありがとうございます。最終的には皆様のいろいろなお話を聞きながら双方の学校で考えていこうと思います。ただし、前回これから地域の学校として考えていかなければという話も出ていたので、地域の人たち、あるいは保護者の方々の代表として、この場に出てきていただいているわけですから、皆さんがどういうことを考えているかということ伺い、それをもとにしなが、あるいは来年度から展開される新しい学習指導要領を加味しながら、ある程度方向を考え、また統合協議会にお諮りして方向を決めていくということにしたいと思います。
委員	私はどちらかというと学校の内容に対してほぼ部外者に近い状態で話をしていますが、前日も皆さんがいろいろ言って本日の資料が出てきているわけです。今日又ご意見を言われる方もいると思いますが、原案みたいなものが出てこないとなかなかイメージがわからないと思います。例えば専門家である先生たちやPTAの方々にある程度、たたき台みたいなものを出してもらって、それを基本にして何か変更するところがあるか、もしくはつけ加えるところがあるかという形にしないと、我々はただ座って聞いているだけの感じになってしまいますが、いかがなものでしょうか。
委員	確かに年齢層もあるしね。
委員	現役のお子さんがいらっしゃる方々と、我々のように子どもももう卒業してしまった、あとは孫がいるかいないかという世代の者には、学校で今何をやっているか、余りわからない中で意見を求められても難しいです。何か言わなければ悪いんだけど、うかつなことを言ってもいけないのかなという感じがする。
委員	まず、ついていけません。
会長	保護者の方々はいかがでしょう。今、実際にお子様たちが学校に通っていらっしゃるのです、こんなようなことを学校で育ててほしいんだというような思いを言うのはなかなか難しいですか。
委員	思いはいろいろあると思うのですが、前回それぞれ意見を言ったと思います。先日と違うことをもっと言ってくださいということになると難しい。

	<p>例えばこの間は「徳」の部分でいっぱい意見が出たので、今度は「知」についてどう思うか言ってくださいと言われれば、しばらく考えて伝えることはありますけれども。指摘があったように、先生方の思いがあって、それを見て、私たちはここにこういう言葉をつけ加えてほしい、ということはあるかもしれません。今日ここで改めて意見を言うていくのは、ちょっと漠然とし過ぎるかもしれないなと思います。どうでしょうか。</p>
委員	<p>思いは前回申し上げたので。</p>
委員	<p>原案を先生方で考えていただいて、それに、もう一つここに何かこういう言葉が欲しいとか、心という言葉がここに欲しい、学ぶという言葉がもっと欲しいとか、体力をもっととか、まず先生と子どもとの信頼関係を築いてほしいとか、そういう付け加える方法がいいかもしれないです。余りにも時間かかり過ぎる方法はどうでしょうか。</p>
委員	<p>私立学校なら特徴を出すために変わったことをいろいろやってもいいと思いますが、公立の学校だと8割、9割は、表現はちょっと変わってもお決まりのことが出てこざるを得ないと思うんです。その中で、ちょっとでもいいから特徴のあるものをそこに付け加えるというなら、それを見て考えることもできますが、さあ、何かありませんかと言われてもちょっと難しい。</p>
委員	<p>ちょっとずれてしまうかもしれませんがいいですか。私の身近な学年のお母さんたちの話だと、皆さん永福南小学校がいいと思って入ってきている人が多いので、新校で永福南小らしさがなくなってしまうのを怖がっています。新校をつくることにポジティブな考えを持っているお母さんが少ないのが現実です。</p> <p>コンセプトをつくる中で、永福小と永福南小ではキャラクターが違うと思うんです。永福南小には個性が強い子どもが多いと思うのですが、その子たちが大勢の中で浮いてしまわないかとかいじめられるのではないかとということをお母さんたちが沢山いて、新校に対してそういうことをどうやればうまくやっていけるのか、受け入れてもらえるのかとか、そういうことで「こういう学校」みたいなことを考えていただけるとうれしいです。</p>
会長	<p>今のご意見はよくわかります。これから永福南小がやってきた特色ある教育活動と永福小でやってきた、育てたい子ども像、特色ある教育活動は一緒になるわけです。来年度も双方で特色ある教育活動については一緒にやっという部分があります。</p> <p>いいものは残していかなくちゃいけないけれども、新しい学習指導要領に変わっていく時期になったときに、今まで教育目標で考えてきた子どもと今の子どもたちの実態が変わってきている。そこを変えていかなくちゃいけない部分があるので、両校の子どもたちが一緒になったときにお互いにそれぞれうまく教育活動になじんでいくということは考えていかなくてはいいいけません。内容も整理</p>

	<p>していかなくてははいけないと思います。</p> <p>ただ、両方がやってきたことを全部両方一緒にやるとなると、膨大な時間と内容を要するわけです。一緒にできるものは一緒に、重点化していくものは重点化していくという考え方が必要だと思います。</p> <p>今の意見も加味しながらなんですが、学校側で原案を出して、それを協議会にかけさせていただいて進めていくという形でのよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>率直に言わせていただくと、今、委員同士で話し合っていることを統合新校のコンセプトに全面的に取り入れるのか、それとも参考にするのか、その辺をはっきりしてもらった方がいいと思います。</p> <p>実際は私も委員の意見、学校の教職員の意見、それから日常的に子どもの生活を見ている地域や家庭の方々の意見を総合して、これらを重点化していくという形になるのではないかと。</p> <p>いつまでもこうやって話していても今出ているような話が出ますので、どこかで意見を絞り、あとは学校側で作った具体的な案を協議会に出してほしい。そうすれば、またそれに対する意見を十分出していただけるのではないかと思います。</p>
会長	<p>わかりました。この間、出してもらった内容についてこちらで検討して、ある程度の方向性を示して、教育目標等も幾つかの案をこちらで考えてお話しさせていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>これについては教員の連絡会とかいろいろな話し合いをしなければいけないので、ある程度のお時間をいただいた中でお示しさせていただく形にします。</p>
委員	<p>コンセプト・目標として、「すごい、この学校、うちの子を行かせたい」と思えるような魅力的で派手なものでもいいと思います。</p>
委員	<p>前回の話し合いのまとめに「体」が特にないというのが気になります。欲を言えばきりがありませんが、学校教育においてはバランスもあります。私は確実に一日一日積み重ねていったもので、でき上がるものもコンセプトや教育目標には含めていただきたいと思います。また今、統合新校としてこういう取り組みをしていくというものも新たに1つ加えてもいいんじゃないかと思います。統合を機に18学級の人数の中でできるようなことを模索していければいいと思います。</p> <p>あそこの学校はバランスがいいし、特にこれがいいよねという感じで育てただけだとありがたい。</p> <p>そうすると地域住民は周りで見ていると安心して落ちついて子どもたちを見ていられると思います。</p>
委員	<p>意見です。日本の今の状況は非常に元気がなくなってきています。でも海外の途上国の人たちはものすごく元気ですね。日本もかつては非常に元気な時代がありました。なぜそうなっているか。その辺も考えなければいけないです。まず小学生の時代から世界に対して元気につながるような子どもにする。そのためには</p>

	<p>どうしたらいいかということをごどこかに入れていただければありがたいです。</p> <p>我々国民もみんな元気になるような教育をしていかなければいけないと思うので、大き過ぎる内容かもしれませんが、その辺をごどこかに入れていただけたらありがたいと思います。</p>
副会長	<p>今のことは末永校長とこの次に提示しますが、今日はどういうふうに提示するかというところをご説明いたします。最終的には校長2人で考えますが、考えるもととなるのは実は国や都や区がどういうふうなことを求めているかということです。</p> <p>23年度から学習指導要領が変わります。また、教育長は「地域の中の学校」としてやりなさいと。そういう思いを私たちも理解しています。末永校長も私も大切だと思っています。「地域の中の学校」にするために、再度こういう機会をと思いました。</p> <p>我々は今の子どもたちの状況やこんな子になってほしいという保護者の思いを分析し、新しい学校にどういう思いを持っているのかということについても話し合い、新校の姿として描いていきたいと考えています。</p> <p>さっき言いましたが、1つ決定していることは、学校の姿に対してワンセンテンスで学校を表すことにしたいというのが私と末永校長の願いなんです。それをどういう言葉にしたらいいのかというのはまだこれからです。まず下位目標にしていることが出てきて、次に方策とかどこまでやるかなど、次回には案を示していきたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今そういう話もありましたが、これから考えるに当たって皆様方から意見がありました。「魅力的な」とか、あるいは「一日一日きちんと積み重ねていくことの必要性を身につけさせていこう」というような意見も出てきています。</p> <p>前は「育てたい子ども像を設定したら全員が絶対それができるような子どもたちにしたい」という意見もありました。「あいさつを見ているだけで、あれは小学校の子たちだなということがわかるのが1つの特色で、それが学校の姿であり子どもの姿であると思う」という意見をいただきました。</p> <p>そういう方向に向かっていくように具体的な内容を考えていきます。いろんな意見や言葉が今日も出ました。前はランダムにいろいろ言っていたと思いますが、今回は「これはぜひ」ということがあったら出していただければと思います。</p>
委員	<p>先生がおっしゃっている内容ですが、例えばよく企業や私立の学校で3Hとか3Sとかありますが、そういう部分でおっしゃっているのですか。</p>
会長	<p>知・徳・体についてですか。</p>
委員	<p>そういうふうなワンセンテンスで表現できるというのが今のご意見ですか。今言った中では、考える頭、優しい心、温かい手でなくて、ものづくりとか、そう</p>

	<p>いうハート、ハンド、何々で3Hとかそういう形のを想像していらっしゃるのですか。</p>
会長	<p>そう言われればそういうことになるけれども、僕は例えばワンセンテンスというのは、教育目標を「人に優しく」という、それだけでいいんじゃないかと思っています。人に優しくするのは心だけじゃなくて、賢くなければ人に優しくできない、これは「知」の部分。ここの部分はまさに心の豊かさ。体力の部分では健康でなければ人に優しくできないでしょう、あるいは人の気持ちも受け取れないでしょう。そういうところでワンセンテンスに全部集約して、このことはどういうことなのというときに、そういう目標にしたいということです。</p>
委員	<p>1つの言葉から考えられるものがたくさんあるということですね。そのワンセンテンスの部分を皆さんのご意見から選ぼう、何か考えていこうとしているわけですね。</p>
会長	<p>校長2人の中では、前回、話があったから心の部分かなという思いはあるのです。心の部分を教育目標にしたいという気持ちは持っている。例えば、豊かな心、育てたい子どもというのはある意味で抽象的な部分というのがあるじゃないですか。でもその中で何をするのかといたら、具体的にはあいさつとか礼儀とかというものを落とし込んでいって、それを徹底的にやっていきましょうと。</p>
委員	<p>でも皆さん、そういうことが全然理解できていないというなかで今までお話を伺っていたんだと思います。</p>
会長	<p>考えていることを、先に出しておいたほうがよかったですね。そのほうがイメージできましたね。</p> <p>でも余り出し過ぎると、そちらに引っ張られてもいけないかと思いましたので。</p>
委員	<p>それで「例えば」という形で言っているんです。日本語はそういう部分でとても奥深い意味のある言葉が多いので。</p>
会長	<p>先ほど心の部分、徳の部分でひとつ持っていきたいといったときにうなずかれる方が多かったので、その部分に持っていきたいなという思いは持っているのですが、実際に提案していったら、それは違うじゃないんですかという話ができるということですね。</p>
委員	<p>そうですね。ちょっとかみ砕いて話していただければわかりやすいですね</p>
委員	<p>先ほどの永福南小 PTA 委員の意見を聞くと、本当に心の部分というのが一番大きいと思います。私は永福小の子どもや先生方しか存じ上げないので、思いも寄らなかった部分もありますが、永福南小の方たちが心配している心の部分を1つ言葉に入れれば安心できるということはあると思います。</p> <p>統合に関して、心配している部分の言葉を1つ入れてさしあげたいと思う。ただ、今統合でやっているけれども、3年先、4年先になると目標はまた変わってくるでしょうし、それが1つになったときに、その言葉が入っていることで、</p>

	<p>「何でこの言葉が入ったの、今さら」という気持ちになってくるかもしれない。今は統合の最中だからその言葉が必要だけれども、3年先にはまた違う言葉が出てくると思うので、今この時の統合の目標を念頭に置いたらいいかと思います。</p>
委員	<p>私は逆にさっきのピオトープの話じゃないですけど、これからつくっていく新校の部分の目標は目標でガンと掲げていていいと思います。でも、今、両校のいろいろな心配事は対応策で何とかなるのではないかと思います。</p>
委員	<p>でも、対応でも言葉にしないと保護者はわからないと思います。</p>
委員	<p>だから、その部分は必要だと思うんです。でも、そこに入ってくる言葉があるじゃないですか。さっき言ったように一つの言葉にはいろいろな深い意味があるので、大きな目標は1つにして、心配している部分も解消できる意味合いも持たせられるのではないかと私は考えます。</p>
委員	<p>永福南小の皆さんのご心配も保護者の方がそれを見て納得すればそのままずっと変わらずそれでいいと思うんですね。ただ現状の話だと不安という部分をまず親から取り外してあげないと、子どもは親に影響されてくるのでやはりうまくいかないと思います。</p> <p>だからその言葉を見て、これならみんな安心して統合がうまくいくんじゃないかなと思えるようだったらそれでいいと思います。何か大きな意味を持たせられる言葉がドンと1つあって、それを永遠に続けていくということに関して、その言葉を見たときに永福南小の皆さんがその言葉で大丈夫だと、みんな安心して仲よくできると思えればいいと思います。</p>
会長	<p>その辺はどうですか。いろいろな話を出してもらえればいいなかと考えています。今、いろいろ聞かせていただいて、考える上でのもとにしていきたいなと思います。</p>
委員	<p>意見ですが、23年度から永福小と永福南小の交流が始まるので、そのことに対して不安がある方もいらっしゃる。それはなぜかといえば永福南小で卒業されるお子さんをお持ちの方と、統合後にこっちに來られるお子さんをお持ちの方と、いろいろな状況の方がいらっしゃるからだと思います。</p> <p>ですから教育目標がころころ変わってしまうと、一本筋が通っていない気がするので、私としては23年度からしばらく統一して、両方のよさをあわせたいいいものを、新校になっても私たちの子どもが卒業するぐらいまでの間やっていくといいのではないかと思います。あまり短い単位で教育課程が変わってしまうのも問題があると思うのですが、統一して大切にしたい目標が1つあれば、統合までの揺れ動いている2年間と統合の年と、その後もこんな学校いいな、一緒になってよかったなと思える学校で、教育目標もそういうものであったら安心できるでしょう。すべて安心というわけにいかないかもしれないけど、安心感が増すのではないかと思います。ですから3年後に変わるのではなくて、今からしばらく子</p>

	<p>どもの様子が変わるまで、心が安定してできたらいいなと思っています。</p>
委員	<p>質問ですが、永福南小も永福小も今から交流していくのだから同じような目標を立てて、同じような形で進んでいってほしい。今は永福南小があるから永福南小の特色、永福小は永福小の特色という形ではなくて、何となく融合した形で永福南小と永福小が同じという形で統合しても23年度からずっとそういう形をとりたいということですか。</p>
委員	<p>全部変えるのではなくて少しずつでいいので歩み寄っていければいいと思います。</p>
委員	<p>今は全く別の学校ですからね。</p>
委員	<p>どっちも良さがあるから、前回は意見があったように、枠を外してもう一回やっていったらいいかなと。</p>
会長	<p>今の話でその辺で共通理解をしておかなければいけないのは、24年度までは永福小と永福南小が教育活動それぞれが特色を持ちながらやっていくということです。25年度からは1つの統合校となっていく。</p> <p>ただ、その過程の中で25年度になったときにお互いが同じ気持ちで、安定感・安心感が持てるような教育活動の取り組みを進めていくというスタンスを採れるような教育活動、教師の意識というものをきちんと考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>恐らくどこの学校でも子どもの姿は「優しい心」とか「基礎学力の定着」とか「健康な体」という、同じような内容が入っているのです。それを本当に教員がきちんと意識してそういうことができるような子どもたちに育てていく教育活動を進めていくことが必要だと思うんですけどね。</p> <p>例えば来年度から体育を一緒にするわけですけども、さあ、2校でやるから優しい気持ちを持ってやりましょうじゃなくて、一緒に活動するときに常に相手のことを思いやりながら活動することが大事だという押さえをしていく。両校が一緒になったとき、そういう気持ちがそのままつながっていく子どもたちになっていくのではないかと感じますが、そういうこととして考えてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>このあと2年間は目標を変えてという意味ではなくて、気持ちの上で。</p>
会長	<p>取り組んでいくという部分です。</p>
委員	<p>両方の子どものためにみんなが一緒になって頑張っていくということですね。</p>
委員	<p>常に「永福南小は」とか「永福小は」ということではなくて、将来は一緒になるわけですから、うちの子もたちはというのではなくて、どのようにみんなで作っていくかを考えるのがいいんじゃないですか。</p> <p>先生方には望むことで書いてあるように、教職員の質を高めるというのは今始まったことではなくて、昔から言っていることなんですね。今のよう状態にな</p>

	<p>ったのは一時期の文部省の方針転換で崩れたんだと私は思います。今、はたから 見ているだけでよくわかりませんが、教員の皆さんはしっかりなさっていると思 うんですね。</p> <p>ですから、先ほどから両方の校長先生がおっしゃっていたように、どのような 子どもを育てたいのかというのは、先生だけではなくて、PTAも一緒になって 考えていけば、将来いい子どもたちができるんじゃないかと思います。</p> <p>ただ、地域は直接教育にかかわっているとは言えませんが、行事のときにちょ っとお手伝いするぐらいですから、なかなかそういうところまで口出しはできな いんです。いろいろ聞かせていただくと、何となく皆さんの心構えが一番大事な んじゃないかなと思って、余計なことですけれども言わせていただきました。</p>
委員	<p>どうやったら皆さんの不安がぬぐい去れるかというのが一番大事なところで す。先日の日曜日からPTA交流会を始めました。まだ1回目ですがソフトボ ールをして楽しみました。大きな目標は両校の保護者にとっては一緒じゃないです か。どういうことを学校に望むというのは先日話したとおり同じだと思います。 あとはお互いの不安を取り除くために保護者が活動すればいいのではないでしょ うか。私もどうやったら不安が取れるのかなと思っています。こちらも教えてい ただきたいし検討したいと思っています。</p>
会長	<p>保護者同士の交流は、情報が一番入ってくる場所ですから、保護者はこんな ふうには思っていますという形でやりとりしていただければと思います。</p> <p>さっきの話にありましたが、保護者の思いとか地域の思いはぜひ聞きたい部分 です。実は恥をさらすようですが、先日、ある地域の保護者の方から苦情があり ました。車が後ろから来ているのに子どもたちが道いっぱい広がっていて退かな いと。クラクションを鳴らすと可哀想だと思うから鳴らさなかったそうです。 道路の真ん中にはランドセルが置いてあったので、運転席から降りて退かそうと したら、その子が何事もなかったようにランドセルを持って帰ってしまったとい うことでした。</p> <p>例えば、地域の人たちはそういう場面を見たことがあると思うんです。ちゃん と「あいさつしなさい」とか、「ごめんなさいをきちんと言いいなさい」とか、「こ れからやりません」とかいうこともせつかくでするので言っただけならばと思 います。</p> <p>こんなことを僕が喋っちゃいけないんですけど、「これ落ちていたよ」と言うと、 とりに来て「ありがとうございました」と言う子もいるけれども、何事もなかつ たようにとって行って行く子もいる。「何か言うことないの」と言うと、「えっ」 という顔をして、「ありがとうございますじゃないの」と（言うと、やっど）「あ りがありがとうございます」と言ったりする。</p> <p>やはり心というか、そういう子どもたちのいろいろな場面を見ていると思うの</p>

	<p>で、そういう話もしてもらおうと、なるほどねと。「今の子どもたちは」と言うのではなく、「こういう子どもたちに育てていこうよ」とならなければいけない。それは地域が育てる子どもたちだからと、そんな話をしてもらえればなと思っています。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私も最近永福南小の子たちを見ていて、今まではただ永福南小の子たちだという意識だったんです。永福小の子たちには、例えば下校時に子どもたちが道いっばいに広がって歩いていたりすると、ドアをあけて、大きな声で注意するようにしているんです。子どもたちも全員私の顔は知っているの、世直しおばさんのようなことを永福小ではしているのです。最近、永福南小の子たちにもよく会うので、同じように注意することにしているんです。</p> <p>そうやってほんとに自分の子と同じという気持ちで接し、私も永福南小のPTAの方といろいろな会合でお会いしていたら、だんだん永福南小の子どもたちにも同じような気持ちになってきて、「こら、その花をとっちゃいけない」とか、「真っ直ぐ歩きなさい」とか、「川の柵から落ちたら大変よ」言うようになってきました。そういうことを地域のみんなでできると、とてもいいと思います。</p> <p>ここには地域の方がいっぱいいるので、いろんな会合でそういうことを言って、みんなで育てていく。怒るだけではなく本当は褒めることもしなくちゃいけないんですけど、そうやっていきたいと思っています。</p> <p>機会があるごとに地域のみんなでそうやって育てていきましょうとお互い言いながらやっていけたらいいと思います。</p>
委員	<p>実際にそうしている地域も結構ありますよね。</p>
委員	<p>同感ですね。私の家の前を子どもたちが通って行くとき、大概あいさつするようにはしているんです。あいさつしてくれる子どももいれば、あいさつも全然しないで行ってしまふ子どもいます。できれば注意はしたいと思いますが、なかなか注意はできませんよね。</p> <p>なぜ注意できないかという、そこまで責任をとれないから私自身が逃げているんでしょうね。地域で子どもは育てなければいけないということがありますので、今、反省しました。自分が叱るところは叱らなきゃいけない。叱るというのは怒るのと違いますからね。叱るというのはしつけという意味で非常に大事ですけども、自分の子どもは叱ることはできますけど、人様の子どもはという気もどこかにあるから、やっぱりなかなか難しいところだなとは思っていますけど、ぜひやりたいとは思っています。</p>
委員	<p>今につながることですけれども、私たちの年代が子どものときは、隣人のおじさん、おばさんたちから、悪いことをすると怒られたものです。そういう風に育ってきたんですけれども、今は生活環境も違うし、子ども像も違いますので、よ</p>

	<p>その子どもは怒れないという風潮です。その気持ちもわかりますが、私は、子どもたちを見ながら、今日はどこに行くんだろうな、毎朝通っているのにおはようも言わないなと思っていました。あいさつがなければ私はこちら側からおはようと言って、それが1週間続くと「あっ、おじさんだ」なんていうことになってくるんです。</p> <p>すぐにというわけにはいかないですが、時間をかけて話しかけてやれば変わってきます。今は知らない人には声をかけてはいけないという親の教育もあるので、おじさんだなんて慌てて逃げる子どももいます。だからそういう面では、もっと子どもに接してあげるのもいいかと思います。</p> <p>教育方針は私にはわかりませんが、例えば兄弟げんかしたときに叩かれて、だれだれがやったとすぐ親御さんに言いつけに行く。「ごめんなさいは？」と言われると、心から謝るんじゃなくて、「ごめんね」と口にするだけで終わりにする子どももいますね。どんなに悪いことをしても「ごめんね」と言えばで終わるんだと勘違いする子どももいるので、そういう面をもっと学校側としても教育してほしいと思います。</p> <p>小学校低学年は大人のようにいろいろな教育は必要ないかと思います。しつけと体力づくり、健康であれば友達との交流もできる、学校の体操もできるし、何事にもすべてつながるんですけども、体が弱いから体操ができないという子どももいるのではないかと思うんですね。そういったことをなくすためにはまず第一に、勉学も大事ですが、体力づくりももっと進めてもらいたいという気持ちがあります。</p>
委員	<p>なかなかうまくは言えませんが、これは統合の問題ですよ。永福南小のPTAの方々、永福小の方々、それぞれ今まで培ってきた大事なものを持っていると思います。統合は決まっていることですので、ちょっと抽象的な言い方をしますが、例えば永福小がHだとしますね、永福南小がOだとしましょうか。足しますと水ができますね。それで清らかな水(H2O)をつくっていただければいいと思います。それには十分な話し合いが要るのではないかと。どんな内容になるかわかりませんが、それが大事だと思います。</p> <p>せっかくピオトープなんて立派なものをつくるわけですから、よく話し合っ、あそこに清らかな水を流せるような方向に持って行ってほしい。H2O2だけはつらないでください、抽象的な言い方をしますが、わかりますよね。H2O2を、あそこの池に流しちゃったら生き物はみんな死んでしまいます。ということで、よく話し合っただきたいなということです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。皆さん、一通りご発言されましたでしょうか。それでは、今日いただいたいろいろな地域の方々の思いと保護者の思いも幾つか出しただきましたので、それをもとにしながら双方の学校で検討を重ねて、また</p>

	<p>ご提案をさせていただくという形をとらせていただきます。その際はまたいろいろなご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは今度「その他」の部分ですが、今後の教育活動について何かありますか。</p> <p>あと今後、こんなことを話し合ってくださいという要望があったら教えてください。今後こんなことを話し合っていく必要があるという要望が恐らくあると思うんです。学校は学校間で教育活動の教職員の交流等をしながら今後話し合っていきますが、ぜひこのことは話し合ってもらいたいよということ、通学路の話も学務課がある程度の方向性を出してくれるということですので、一度提案していかなくちゃいけないということも出てくると思います。あと気にかかっていることはありますか。特にないですか。よろしいでしょうか。(なし)</p> <p>次回協議会は5月に開催しようと思いますが、例えばPTAの方々の役職が変わったりするので、その内容と手続等については後ほど事務局から説明してもらいたいと思います。</p> <p>PTAでこれから予定されていることはありますか。</p>
委員	<p>3月16日の午前中に永福小でPTAのリボンストラップ講習の交流会があります。</p>
会長	<p>ぜひよろしくをお願いします。学校もある程度計画を出しています。それについてこの間、双方の副校長から話は出ていますのでそういう形で進めたいということですね。ではよろしいですか。(異議なし)</p> <p>では、最後に事務局に戻します。</p>
学校適正配置担当係長	<p>今回は5月、次年度の開催ですので、協議会メンバーの方や行政側も変わる可能性があります。PTA選出の方も次年度はどういう形になるか。</p> <p>第1回統合協議会のときに、委員の皆さんにはそれぞれ委嘱状をお渡しして任命をしていますが、新しく委員になった方にも同じように委嘱することになります。</p> <p>正式にPTAの体制が決まるのは5月の総会ですね。今年は会長と副会長が委員に選出されましたが、別に役職がない方と協議会委員になれない訳ではありません。PTA選出の委員の方がどなたになるか連絡はいただきたいと思います。連絡いただければ事務的な手続きとらせていただきます。</p>
学校適正配置担当課長	<p>新しい委員の方は、4月に入ったらわかりますか。具体的に今年1年間こういうことを話し合いましたということ新しい方にも少し説明しなければいけないと思います。</p> <p>5月に協議会をやるとしたら、4月のどこかの時点でお話しできる機会を持たせていただければと思います。</p>
委員	<p>質問ですが、PTA以外の方は個人が委嘱されて統合するまで任期となってい</p>

	<p>ますね。それはその人の発言でいいんですけども、PTAの方は毎年変わっていくかも知れませんね。そのときに発言の内容は、その年の個人の方の発言なのか、それともPTAとしての発言なのか、その継続性はどうなってしまうのか。例えば、もし来年メンバーが全部変わったときに、私としてはそれは納得できない、知りません、おかしいですと、また1年戻ってしまう可能性もなきにしもあらずになると、その辺はどうなるのでしょうか。</p>
会長	<p>今年度の設計やピオトープは、いろいろなご意見をいただいた形ででき上がりました。それは引き継いでいきます。</p> <p>教育目標についてはご意見をいただいている段階です。これから校名、校歌、校章や教育課程の話をしていく予定です。教育課程については学校側が原案を提案させていただいて、ご意見はいただき、最終的には校長が決め、あるいは永福小の場合はコミュニティスクールですので運営協議会が最終的には承認する部分があるので、承認してもらっていくという形になります。</p> <p>校名、校歌、校章については、協議会での方向性が出てきたときに、それぞれ選出母体に一度持ち帰りをしていただいて、それをもとにしながら意見をいただく形にしていったほうがいいかと思っています。事務局としてはそういうやり方でいいですね。</p>
学校適正配置担当課長	はい。
会長	協議会の場だけで決めてしまうというわけにいかないですね。
委員	うーん。
会長	<p>討議する内容によります。内容によって、PTA代表の方が協議会の場で即答できない、ということであれば、わかりました、持ち帰って考えてみてくださいということになると思います。</p> <p>今年討議してきた内容については、持ち帰って討議という形をとる必要はないと思います。それはいいですね。</p>
委員	<p>こういう会を定例でやっていると、その場の発言と議事録になった発言だけではなくて、何となくニュアンスみたいなもの、人間関係とかそういうのがだんだんわかってきて、理解してきて話をまとめていこうよというふうに普通はなるのかなと思いますが、そこでメンバーの3分の1ぐらいの方が代わっていってしまうと、そういうのをやったことがないので、どういう結論になるのかが想像できないなと感じています。</p>
会長	<p>その辺については、双方の学校の中で、今までこういう討議をしてきて、今後はこういう方向で話が進んでいきますと引き継ぎしておいていただければと思います。そういうことでいいですか。</p>
学校適正配置担当	PTAの方々は1年交代になる場合がありますので、こちらでも協議会ニュー

<p>当課長</p>	<p>ス等で報告していますが、他のPTAの方々に今こういう話をしているという情報をその都度、どこかの場を使ってお伝えいただければありがたいです。そういった中で、ここで発言していただいているのはそれぞれの個人の考えなんです。学校側でもほかの方々のご意見も踏まえた上で発言していただいているという認識ですので、そこをお願いできればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしく申し上げます。次に事務局からケヤキについての報告をしてもらい、最後に私から5月の予定と開催時間等についてお話ししたいと思います。</p>
<p>学校適正配置担当係長</p>	<p>お手元の「永福小学校ケヤキ活用方法について」という資料をご覧ください。それからケヤキ伐採の写真を回してもらえますか。2月27日の前回協議会で話ししたように伐採予定の2本のケヤキのうち、体育館に一番近い、細いほうのケヤキを伐採いたしました。伐採したものはその日のうちに4トン車に積み込み、現在、栃木県のさくら市で乾燥させています。</p> <p>実際に切ってみて、中が空洞になっていないかということが一番心配でしたが、木にはみっしりと非常に良好な状態で中身が詰まっています。穴もあいていないために活用は十分できそうです。来週、伐採した業者が栃木の保管場所に行って、最終的にどのくらいの量の木材をとれるかという概算試算をする予定です。</p> <p>資料は、前回皆さんから出た意見をまとめた表で、活用方法、保管場所、費用の有無、備考を記載しています。</p> <p>前回排出した木材の量からするとベンチの制作については可能だと思われます。枝等を利用した工作物についても可能です。餅つき用の臼は本体の一番太い幹の部分ではなくて枝分かれしているところで周りが60センチぐらいありますので、子ども用さんの臼にちょうどいいのができるかと思います。</p> <p>年輪を活用したオブジェについても手ごろな太さのところを輪切りにして使うことができます。根を活用したオブジェはなるべく予算をかけないでということでした。根の部分は、抜根は解体工事が始まってからで8月ぐらいの時期に掘り出して校庭の隅にブルーシートか何かを置いておいて加工用にとっておく。これのみ保管は学校でお願いする形になります。</p> <p>廃材といいますか、余りが出たら近隣の方に配布するというのも、どのぐらいの分量が最終的に残るかわかりませんが、見た感じでは、とれそうな感じです。場合によってはそういう形で協議会ニュースなどを通じて近隣の方に呼びかけるという方法もあるかと思います。</p> <p>その他児童用遊具に活用するという要望もありましたが、幾つか難しい点があります。ベンチの場合でも外に置いておくと10年もたないだろうとのこと。遊具は例えばのぼり棒だとベンチ以上に負荷がかかるので、耐用年限はもう少し短くなります。</p> <p>それから前回、安全基準というお話がありましたが、学校の遊具の安全確保は</p>

	<p>独自に基準を持っているわけではなく、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」というのがあり、学校遊具に関してはそちらに準拠しています。</p> <p>これは平成14年につくられていて20年に改定されていますが、改定の際に、製造したら標準の使用期間を製造者が定めなさいということになったんです。何年くらい使えるかとか、そのほかに定期的な点検もしなければいけない。杉並区の場合、学校の遊具は3年に1回、全小学校を対象に点検しています。そのときに、危ないものは撤去しなければなりません。</p> <p>通常の遊具に関しては、学校は設置管理者ということになります。単純に考えるとケヤキをそのまま切ったのぼり棒をつくれればいいじゃないかと思いますが、今度は製造に関する責任を負うので単純に遊具の形のものを切り出して置けばいいということではなくて、安全基準を満たし適切に管理するためには専門製造業者に作成を依頼する必要があるかと思います。費用的にはよりコストがかかるかと思います。そういった問題もあり、活用できる量にも限りがあるのでその辺を考えると、ちょっと他の活用方法に比べどうか、という面があります。</p>
会長	<p>今後、伐採したときの枝の量等々があるかと思いますので、随時報告していただければと思います。特にケヤキの活用についてはよろしいでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>活用できるかどうかわからないので、思いつきだし、だめだったらそれでいいんです。けれども、ある図書館の中で子どもが5～6人入れるログハウスのようなものを見たことがあります。図書館の中に入れるのは無理なので、校庭の片隅に永福小で育ったケヤキを壁や屋根に子どもたちで飾った小さな小屋があると、例えば休み時間に具合が悪くて、校庭へ行って遊べない子が、本を読んだり、休んだり、他の子どもたちと一緒に過ごせる場にならないでしょうか。以前餅つき会で永福小にお邪魔したときに、青空読み聞かせ会をしてくださって、子どもたちが集まってお母さん方が読んでくださった。ああいうほのぼのしたのもいいなと思いました。</p>
学校適正配置担当係長	<p>小屋というのは相当木材の量が必要だと思います。利用・活用できる量と、それに要する費用と、その辺を考慮しなければなりません。</p>
学校適正配置担当課長	<p>小屋や屋根がかかるものになると基本的には建築基準法の確認等が必要になります。そうすると、現実的には厳しいです。</p>
委員	<p>年輪は、一番右の下の幹からとるんですね。</p>
学校適正配置担当係長	<p>幹ですね。</p>
委員	<p>底のところを薄く切っていただいて、入り口のところは何年何年と書いて、何回生はこの辺ですよというのがわかると非常におもしろいと思いますね。</p>
会長	<p>ありがとうございます。使える分量等の目安がいたらまたご報告いただければと思います。</p>

	<p>最後に日程を決めて終わりにしたいと思います、その前にぜひ発言しておきたいこと、伝えたいことはありますか。(なし)</p> <p>それでは日程は5月ということ。学校行事もありますし、皆様来年度ということなのでご予定がたたないかもしれませんが、5月17日あたりでいかがでしょうか。</p>
委員	午前中ですね。
会長	<p>今後いろいろな内容が多くて、例えば教員からの報告とか副校長からの報告もぜひやらなければいけないというときには全員が学校をあけてこちらに向かうというのは正直言ってきつい部分があるので、そういう場合は3時からということもあり得ます。現段階では今のところ10時で考えています。</p>
	(日程調整)
会長	17日の方向で進めさせていただきます。また変更があった場合はご連絡します。
学校適正配置担当係長	会場は永福南小学校の図書室でよろしいでしょうか。
会長	<p>はい。時間は10時です。それでは、いろいろご意見をいただきましてありがとうございました。12時近くになりました。これで終わりたいと思います。</p> <p>以上で統合協議会を終了します。ありがとうございました。</p>